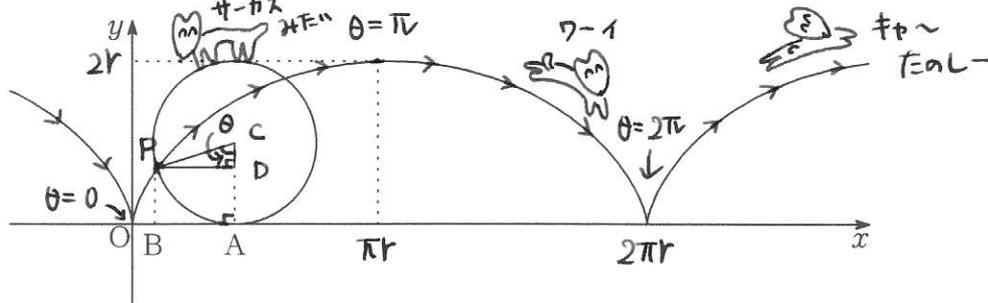


サイクロイドを極める

サイクロイドとは、円が直線に接しながら滑らないで転がるときの円周上の1点の描く曲線のことで、授業ではパソコンを使って紹介したので、どんな感じなのかイメージがつくと思います。

今回は、このサイクロイドをテーマにして面積や体積、曲線の長さなどを計算してみよう。



注 半径 r の円を転がしたとすると、曲線の一番上の点の y 座標は直径の長さ $2r$ に等しく、原点から出発して、次に x 軸上に戻ってきたときの x 座標は円周の長さ $2\pi r$ に等しいことを意識しよう。

1 サイクロイドの媒介変数表示

上図のように角 θ を定め、サイクロイド上の点 $P(x, y)$ を媒介変数 θ で表わしてみよう。

直角三角形 CPD に注目します。

$CA = CP = r$ (半径) なので、

$$\text{弧 } PA = OA = r\theta$$

$$x = OB = OA - BA = r\theta - r \sin \theta$$

$$y = BP = AC - DC = r - r \cos \theta$$

したがって、

▷Point◁

サイクロイドの媒介変数表示

$$\begin{cases} x = r(\theta - \sin \theta) \\ y = r(1 - \cos \theta) \end{cases}$$

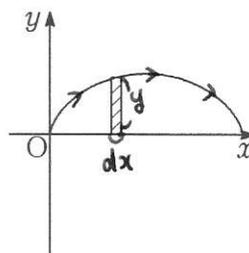
となります。

2 x 軸とで囲まれた部分の面積

サイクロイド曲線と x 軸で囲まれた部分の面積を求めることは基本問題です。まずは、フツーに立式し、その後、 θ で置換積分します。積分区間に注意しよう。

解 $S = \int_0^{2\pi r} y \, dx$ である。

$x = r(\theta - \sin \theta)$ より、 $dx = r(1 - \cos \theta) \, d\theta$ 。



x	0	\rightarrow	$2\pi r$
θ	0	\rightarrow	2π

長方形の面積 $y \, dx$

$$\int_0^{2\pi r} y \, dx = \int_0^{2\pi} r(1 - \cos \theta) \cdot r(1 - \cos \theta) \, d\theta$$

$$= r^2 \int_0^{2\pi} (1 - \cos \theta)^2 \, d\theta$$

$$= r^2 \int_0^{2\pi} (1 - 2\cos \theta + \cos^2 \theta) \, d\theta$$

$$= r^2 \int_0^{2\pi} \left(1 - 2\cos \theta + \frac{1 + \cos 2\theta}{2}\right) \, d\theta$$

$$= r^2 \left[\frac{3}{2}\theta - 2\sin \theta + \frac{1}{4}\sin 2\theta \right]_0^{2\pi}$$

$$= 3\pi r^2$$

言いたいこと
↓ 次数
下げ

はい大丈夫

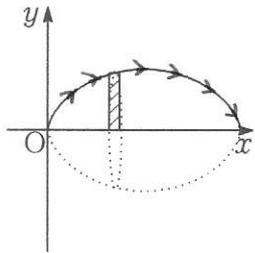
3 x 軸周りの回転体の体積

OK

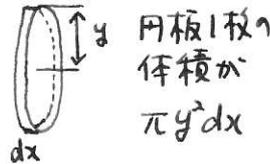
セオリー通りに回転軸に垂直な断面で考えます。半径 y 、厚み dx の微小円板の寄せ集めと考えるのでしたね。先ほどと同様にまずは、フツーに立式し、その後、 θ で置換積分します。積分区間に注意しよう。

解 $V_x = \pi \int_0^{2\pi r} y^2 dx$ である.

$x = r(\theta - \sin \theta)$ より, $dx = r(1 - \cos \theta) d\theta$.



x	0	\rightarrow	$2\pi r$
θ	0	\rightarrow	2π



$$\begin{aligned} & \pi \int_0^{2\pi r} y^2 dx \\ &= \pi \int_0^{2\pi} r^2(1 - \cos \theta)^2 \cdot r(1 - \cos \theta) d\theta \\ &= \pi r^3 \int_0^{2\pi} (1 - \cos \theta)^3 d\theta \\ &= \pi r^3 \int_0^{2\pi} (1 - 3\cos \theta + 3\cos^2 \theta - \cos^3 \theta) d\theta \end{aligned}$$

ここで、
 $\int_0^{2\pi} d\theta = 2\pi$. $\int_0^{2\pi} \cos \theta d\theta = 0$
 $\int_0^{2\pi} \cos^2 \theta d\theta = \pi$. $\int_0^{2\pi} \cos^3 \theta d\theta = 0$
 なので、(途中計算は省略します)
 $V_x = \pi r^3(2\pi - 3 \cdot 0 + 3 \cdot \pi - 0) = 5\pi^2 r^3$

4 曲線の長さ

曲線の長さの公式を用いるだけです.

▷Point◁(曲線の長さ)

$y = f(x)$ ($a \leq x \leq b$) の長さは

$$\int_a^b \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx$$

x と y が媒介変数表示されている場合は、
 $\alpha \leq t \leq \beta$ のとき、

$$\int_\alpha^\beta \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt$$

解 $\frac{dx}{d\theta} = r(1 - \cos \theta)$, $\frac{dy}{d\theta} = r \sin \theta$ であるから、

$$L = \int_0^{2\pi} \sqrt{r^2(1 - \cos \theta)^2 + r^2 \sin^2 \theta} d\theta$$

$$= r \int_0^{2\pi} \sqrt{1 - 2\cos \theta + \cos^2 \theta + \sin^2 \theta} d\theta$$

$$= r \int_0^{2\pi} \sqrt{2 - 2\cos \theta} d\theta$$

$$= r \int_0^{2\pi} \sqrt{4 \sin^2 \frac{\theta}{2}} d\theta$$

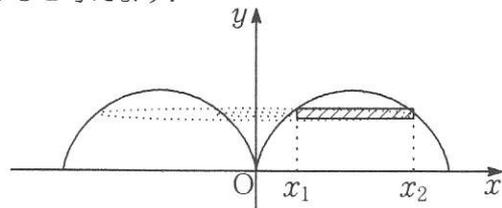
ここが最大のポイント!!
 半角の公式
 $\sin^2 \frac{\theta}{2} = \frac{1 - \cos \theta}{2}$
 を使ってます。

$0 \leq \theta \leq 2\pi$ では、 $\sin \frac{\theta}{2} \geq 0$ なので、

$$L = r \int_0^{2\pi} 2 \sin \frac{\theta}{2} d\theta = 2r \left[-2 \cos \frac{\theta}{2} \right]_0^{2\pi} = 8r$$

5 y 軸周りの回転体の体積

基本的な考え方は x 軸周りの回転体と同じ。つまり、回転軸に垂直な断面で考えるので、今回の場合、下図の斜線部分を y 軸周りに回転させると考えて、穴あき円板 (50 円硬貨みたいなもん) を寄せ集めると考えます。



解 曲線 C の

$0 \leq \theta \leq \pi$ の部分を $x = x_1$ ($0 \leq y \leq 2r$).

$\pi \leq \theta \leq 2\pi$ の部分を $x = x_2$ ($0 \leq y \leq 2r$)

と表すと、求める体積は、 $dy = r \sin \theta d\theta$ より、

$$\begin{aligned} V_y &= \pi \int_0^{2r} \{(x_2)^2 - (x_1)^2\} dy \\ &= \pi \left(\int_{2\pi}^{\pi} x^2 \cdot r \sin \theta d\theta - \int_0^{\pi} x^2 \cdot r \sin \theta d\theta \right) \\ &= \pi \left(\int_{2\pi}^{\pi} x^2 \cdot r \sin \theta d\theta + \int_{\pi}^0 x^2 \cdot r \sin \theta d\theta \right) \\ &= \pi \int_{2\pi}^0 x^2 \cdot r \sin \theta d\theta \\ &= \pi \int_{2\pi}^0 r^2(\theta - \sin \theta)^2 \cdot r \sin \theta d\theta \\ &= \pi r^3 \int_{2\pi}^0 \sin \theta (\theta^2 - 2\theta \sin \theta + \sin^2 \theta) d\theta \\ &= \pi r^3 \int_{2\pi}^0 (\theta^2 \sin \theta - 2\theta \sin^2 \theta + \sin^3 \theta) d\theta \\ &= 6\pi^3 r^3 \quad (\text{これも途中計算は省略します}) \end{aligned}$$

注 この計算はかなりキツイ。エグイ。

一発で合わせるのはほとんど不可能でしょう。

僕は Mathematica で計算しました。ごめんね。

ムリ、す